

千代田区橋梁長寿命化修繕計画

(平成 23 年 3 月策定)

● 目的

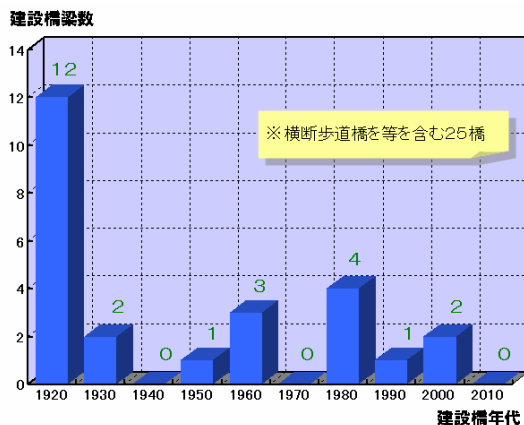
千代田区の橋梁の耐震性の向上を図り、災害時の避難や物資輸送路を確保するため、橋梁の状況把握、予防的な修繕を計画的に進め、橋梁の長寿命化と整備に係る費用の縮減を図る。

● 橋梁の状況

千代田区では、25 橋の橋梁を管理しています。(2010 年現在) これらの橋梁を仮設年度ごとに整理すると、下図<架設年次別橋梁状況>になります。

特徴としては、大正 14 年(1925)に建設された、新四谷見付橋をはじめとして、大正時代から昭和初期(1920 年~1930 年)に架設された橋梁が半数以上を占めていることが上げられます。

<架設年次別橋梁状況>



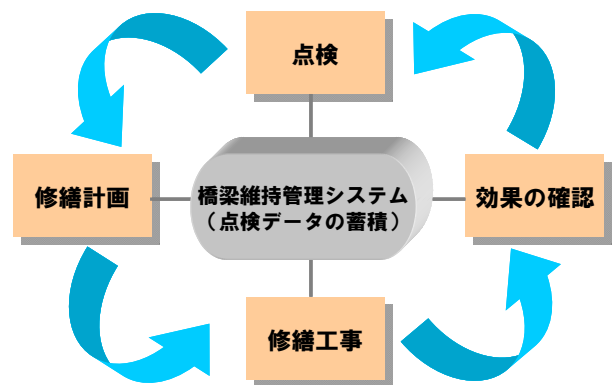
● 計画内容

こうした状況の中、損傷がある程度大きくなった時点で対策を行う「事後保全型」による管理手法から、橋梁の劣化進行を予測して大きな損傷が生じる前に早めに手当てをする「予防保全型」の管理手法による、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の計画的な維持管理を実施します。

● 橋梁整備のための取組み

- ・ 定期点検(橋梁健全度調査)を原則 5 年ごとに行い、橋梁のマネジメントサイクルを定着させます。
- ・ 橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的な修繕を行います。
- ・ 道路パトロールなどにより異常の早期発見努めるなど、予防保全への取組みを進めます。

<橋梁のマネジメントサイクル>



● 「橋梁長寿命化修繕計画」に基づく 5 か年の計画

実施事項	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
補修工事	2 橋	4 橋	3 橋	6 橋	5 橋
全橋点検					点検実施

◇ 計画対象橋梁は別紙「千代田区橋梁位置図」を参照してください。